令和５年度　学校経営計画・自己評価書

足立区立西保木間小学校
校長　佐分利　規雄

１　学校教育目標

○思考力を伸ばす　○健全な心を育てる　○健康で強い身体をつくる　○楽しい学校生活を実現する

２　めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	○毎日が明るく楽しく、明日が待ち遠しい学校 ○「分かった。できた。」と達成感や成就感を味わえる学校 ○友達とふれ合い、人権や規律が守られ安心して過ごせる学校
○児童・生徒像	○よく考える子……・基礎・基本の学力を身につけた子　・気づき、考え、実行する子　・自ら学ぶ姿勢を身につけた子 ○思いやりのある子…・自分のよさや他の子のよさがわかる子　・相手の話をしっかり聞くことができる子 ○たくましい子……・基本的生活習慣を身に付けた子　・健康づくりにはげむ子
○教師像	○児童の学力向上や体力向上のため、惜しまず力を注ぐことのできる教師 ○一人一人の児童の人権を大切にし、保護者、地域から信頼される教師 ○課題解決のためにチームとして力を合わせ、全力を出してやり遂げる教師

３　学校の現状及び前年度の成果と課題

【学校の現状】

○児童について…学校全体としては明るく、素直な児童が多い。異学年との交流も多く、休み時間などでは、異学年と遊ぶ姿が見られる。学習面では、基礎的基本的な内容の確かな定着と活用力の向上が課題である。

○教職員について…若手教員の割合が高い。指導力向上のため授業研究・ＯＪＴ研修など組織的に取り組んでいる。学校経営に参画する意識も高まっており、誠実に職務を遂行している。

○保護者・地域について…保護者・地域の方々は、学校教育に理解があり、協力的である。開かれた学校づくり協議会の方々・保護者の方々には、毎朝児童の登校を見守っていただいている。持久走記録会では、保護者と地域の方々にご協力いただき運営のお手伝いをしていただいた。

【前年度の成果と課題】

１－重点的な取組事項　学力向上

○区学力調査では、国語の通過率は79.7％で、昨年と比較すると2.5ポイント上昇した。「書くこと」「読むこと」に課題があり、音読や説明文の読み方、自分の考えや根拠を明らかにして記述するなどの指導を工夫していく。算数の通過率は79.0％で、昨年と比較すると4.2ポイント下がった。「図形」「測定、変化との関係」に課題があり、繰り返し学習と課題解決型学習の指導の充実を図る。

○授業では多くの機会でＩＣＴを活用した。今後は、令和４年度に導入されたＡＩドリルと共により効果的な活用を工夫していく。

２－重点的な取組事項　楽しい学校生活の実現

○肯定的に「学校が楽しい」と回答した児童は83.9％、「自分にはよいところがある」と回答した児童は70.8％であった。児童に「分かった。できた。」と達成感や成就感を味わえる授業づくりと一人一人の児童に居場所のある学級づくりに今後も努めていく。

３－重点的な取組事項　体力向上
○都の平均を上回ったのは令和３年度より４種目増え、９６種目中５８種目（６０％）あった。握力・反復横跳び・シャトルランは概ね良好で、５０ｍ走・立ち幅跳び・ボール投げに課題がある。
○肯定的に「進んで運動をしている」と回答した児童は 72.6%であった。今後も運動に親しませるため、外遊びの励行や体育科指導の改善を図る。

４　重点的な取組事項

	内　　容	実施期間（年度）　R:令和				
		R3	R4	R5	R6	R7
1	学力向上アクションプラン	○	○	○	○	○
2	楽しい学校生活の実現	○	○	○	○	○
3	体力向上	○	○	○	○	○

５　令和５年度の重点目標

重点的な取組事項－１	学力向上アクションプラン

Ａ　今年度の成果目標	達成基準（目標通過率）	実施結果（通過率結果）	コメント・課題	達成度 ◎○△●
授業力向上により、児童の学習意欲を高め基礎学力を向上させる。	区学力調査目標通過率 国語 80%　算数 80%	区学力調査通過率 国語 85.6%　　算数 85.5%	昨年と比較すると、２教科平均の通過率は 6.5 ポイント上昇し、目標値を５ポイント上回った。	◎

Ｂ 目標実現に向けた取組み

新・継	アクションプラン	対象学年 実施教科	頻度・実施時期	具体的な取り組み内容（誰が、何を、どのように）	達成確認方法	達成目標（＝数値）（いつ・何を・どの程度）	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 継続	授業力の向上	全学年 ４教科	・通年	・管理職による授業観察と指導・助言 ・教科専門指導員による授業力の育成 ・校内研究、相互授業参観の実施	・児童アンケート	・授業がわかる９０％	・授業がわかる９０．３％	昨年度より、＋5.2 ポイントであった。足立スタンダードの授業スタイルの定着と児童の学習意欲が高まる授業づくりを工夫する。	○

2 継続	ICT を活用した学習	全学年 ４教科	・通年	・視覚的にわかりやすい授業づくり ・授業の展開時での効果的な活用	・実施報告	・ＩＣＴを週５回以上活用した授業	・ＩＣＴを週５回以上活用した授業は実施した	児童の学習意欲と理解をより高められる効果的なＩＣＴの活用方法を工夫する。	○
3 継続	ＡＩドリルの活用	全学年 算数	・通年	・朝学習、補充学習、授業等での活用 ・家庭学習での活用	・児童 アンケート	・苦手な問題ができるようになった ８０％	・苦手な問題ができるようになった ６４％	ＡＩドリルの取組は定着してきた。学力の定着のための活用方法を工夫する。	△
4 新期	補充授業	全学年	・通年	・月１時間、補充授業の実施 ・複数体制での実施 ・区調査の活用	・算数のまとめワークテスト(再テスト含む)	・7, 12, 3 月のまとめのワーク 1～4 年　80% 5・6 年　75% 通過率８０％	・7, 12, 3 月のまとめのワーク 1～4 年　80% 5・6 年　75% 通過率 77%	学習内容の基礎的基本的な内容の定着を図った。	○
5 継続	放課後 補充教室	全学年 国語 算数	・通年	・月３回程度の放課後の放課後補充教室の実施 ・全教職員による取組	・実施報告 ・算数のまとめワークテスト(再テスト含む)	・25 回程度実施 ・7, 12, 3 月のまとめのワーク 1～4 年　80% 5・6 年　75% 通過率８０％	・３０回程度実施 ・7, 12, 3 月のまとめのワーク 1～4 年　80% 5・6 年　75% 通過率 77%	各学年３０回程度実施した。学習内容の基礎的基本的な内容の定着を図った。	○
6 継続	家庭学習の充実	全学年 算数・国語	・毎日 ・年３回	・「家庭学習のてびき」を活用した家庭との連携 ・家庭学習週間の設定	・実施報告	・宿題の提出率 ９０％	・宿題の提出率 ９３％	音読・漢字・計算を中心に、自主学習も課題とした。ＡＩドリルも積極的に活用した。	○
7 継続	小中連携	全学年、	・年８回	・足立スタンダードに基づいた指導	・実施報告	・足立スタンダードの実践 ８５％	・足立スタンダードの実践 ９３％	ペアやグループでの話し合いを多く設定し、発言力やまとめる力を高めるよう工夫した。	◎
8 継続	夏休み 学習教室	全学年 抽出児童 国語・算数	・夏休み期間中 10 日	・全校による指導体制 ・区学力調査・単元テスト等で把握した学習内容の定着	・確認テストの実施	確認テストで正答率１０％以上のアップ	９月の確認テストで正答率７ポイントの向上	補充学習を充実させ、確かな定着を図る。	△

重点的な取組事項－２	楽しい学校生活の実現

Ａ　今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
学校が楽しい児童を増やす	アンケート評価 学校が楽しい児童　90%	学校が楽しい児童　８６．４％	2.5 ポイント上昇した。どの児童も楽しい学校づくりに努める。	○

Ｂ 目標実現に向けた取組み

項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
一人一人の居場所となる学習環境・生活環境づくり	学校が楽しい児童 ９０％	・児童が分かる授業づくり ・居心地のよい学級づくり ・特別支援教育の推進 ・ふれあい月間の取組 （年３回）	学校が楽しいと回答した児童 ８６．４％	学校行事やたてわり班活動では、児童は生き生きと活動していた。楽しい授業づくりと居心地のよい学級づくりに今後も努めていく。	○
自己肯定感の向上	自分にはよいところがある児童 ８０％	・一人一人の活躍の場づくり ・道徳科授業の充実 ・縦割り班活動、集会活動、学校行事等の充実	自分にはよいところと回答した児童　７６．４％	昨年度より 5.6 ポイント上昇した。小規模校の利点を生かし、一人一人の活躍の場を設け、教育活動では肯定的な指導に努めている。今後も継続して児道の自己肯定感を育てていく。	○
基本的生活習慣の徹底	早寝・早起き・朝ごはんの習慣が定着した児童 ８０％	・生活習慣チェック（年３回） ・「早寝・早起き・朝ごはん」週間の設定と保護者への啓発	早寝・早起き・朝ごはんの習慣が身に付いていると回答した児童 ７０．２％	昨年度より 0.6 ポイント上昇した。家庭と連携し、根気強く児童に基本的な生活習慣を身に付けていく。	△

重点的な取組事項－３	体力向上

Ａ　今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
体力向上	スポーツテストの結果が全種目の６５％で都の平均を上回る	都の平均を上回った種目は、昨年度より４種目上回り６５％(６２種目)であった。	体育科指導の充実と遊びの励行を図る。	○

Ｂ 目標実現に向けた取組み

項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
体力向上	スポーツテストの結果で都平均を上回る種目数　６５％	・体育科指導の改善 ・実技研修会の実施	都の平均を上回った種目は、昨年度より４種目上回り６５％(６２種目)であった。	課題である５０ｍ走・ソフトボール投げの力を高める指導を工夫していく。	○
運動に親しむ児童の育成	運動が好きな児童　８５％ すすんで運動をしている児童　８０％	・体育行事の充実 ・体育朝会の充実 ・外遊びの励行	運動が好きな児童　８４．４％ すすんで運動をしている児童　８１．３％	昨年度より、それぞれ2.3･8.7ポイント上昇した。体育的行事は、意欲的に活動できた。休み時間では、異学年で遊ぶ姿がよくみられる。今後も、運動を励行していく。	○

６　まとめ

（１）今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

１－重点的な取組事項　学力向上

○区学力調査では、国語の通過率は85.6％で、昨年と比較すると5.9ポイント上昇した。課題であった「書くこと」「読むこと」は、説明的文章の読み方、自分の考えや根拠を明らかにして記述する指導の工夫が成果を上げた。算数の通過率は85.5％で、昨年と比較すると6.5ポイント上昇した。課題であった「図形」は、繰り返し学習と課題解決型学習の指導の充実が成果を上げた。

○授業では多くの機会でＩＣＴを活用した。ＡＩドリルと共に効果的に活用を工夫していく。

２－重点的な取組事項　楽しい学校生活の実現

○肯定的に「学校が楽しい」と回答した児童は（昨年度より＋2.5 で）86.4％、「自分にはよいところがある」と回答した児童は（昨年度より＋5.6 で）76.4％であった。児童に「分かった。できた。」と達成感や成就感を味わえる授業づくりと一人一人の児童に居場所のある学級づくりに今後も努めていく。

３－重点的な取組事項　体力向上

〇都の平均を上回ったのは昨年度より４種目増え、９６種目中６２種目（６５％）あった。反復横跳び・シャトルランは良好で、５０ｍ走・ボール投げに課題がある。

〇肯定的に「すすんで運動をしている」と回答した児童は（昨年度より＋8.7 で）81.3%であった。今後も運動に親しませるため、外遊びの励行や体育科指導の改善を図る。

（２）保護者や地域へのメッセージ

日頃より、保護者、地域の皆様に学校教育へのご理解とご協力をいただきありがとうございます。また、開かれた学校づくり協議会の方々には、毎朝の児童の登校の見守りをしてくださり感謝しております。本年度は、子供たちの学校での様子や子供たちの頑張っている姿を見ていただけたと思います。今後も子供たちの健やかな成長のため、家庭・地域・学校が同じ方向を目指して、連携していきたいと考えます。これからも、子供・保護者・地域の方々に魅力のある「明るく楽しい学校」づくりを目指してまいります。

（３）その他（学校教育活動全般について）

本年度は、校舎西側工事でご迷惑をお掛けしました。令和６年度は、校庭が人工芝となります。工事中は子供たちには、不便を掛けますが、教育環境が整備されることはとても嬉しいことです。皆様にもご不便をおかけすることもあると思いますが、ご支援の程お願いいたします。